

第 1 調査のあらまし

1 調査目的

令和5年4月9日（日）執行の統一地方選挙における市内有権者の投票行動、政治への関心、選挙についての意識を探ることにより、今後の選挙行政の基礎となる資料の作成を目的とする。

2 調査項目

- (1) 市民生活
- (2) 政治意識
- (3) 統一地方選挙での投票行動
- (4) 投票率や制度の改善に関する意識
- (5) 選挙意識
- (6) フェイスシート

3 調査仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内の有権者
- (3) 標本数 6,500
- (4) 抽出方法 選挙人名簿から区別・男女別・年齢別の有権者構成割合によって無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法・インターネット回答方式併用（調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットによる。はがきによる督促兼礼状送付1回）
- (6) 調査時期 令和5年5月24日から6月21日
- (7) 調査実施機関 株式会社アクス

4 回収結果

- (1) 有効回収数 2,304
- (2) 有効回収率 35.4%
- (3) 回収不能数 4,196

5 結果の表示

- (1) 図表中のnは該当質問での回答者総数のことである。質問に対する回答は1つの場合や、2つまで、あるいは、いくつでもよい場合（複数回答）などがあるが、複数回答の場合、合計比率は、通常100%を超える。
- (2) 百分比はnを100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した。このため、百分比の合計が100%に満たない場合や上回る場合がある。また、『(計)』はそれぞれの回答者数の総計で算出している。
- (3) 図表によっては「無回答・無効票」の表示を省略する場合がある。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

6 時系列比較で使用している過去の調査の概要

(1) 第18回「投票参加状況調査」

調査対象 横浜市内の有権者

標本数 6,500

抽出方法 選挙人名簿による無作為抽出

調査時期 令和元年5月27日から7月12日（統一地方選挙後）

有効回収 2,300

有効回収率 35.4%

(2) 第19回「投票参加状況調査」

調査対象 横浜市内の有権者

標本数 6,500

抽出方法 選挙人名簿による無作為抽出

調査時期 令和3年10月27日から11月18日（市長選挙後）

有効回収 2,452

有効回収率 37.7%